

ごあいさつ

平成25年度 花蹊記念資料館紀要『にいくら』19号をお届けいたします。

巻頭には常務理事嶋田英誠先生の「跡見花蹊『万山暈翠図』・跡見女学校生徒合作『花卉図』双幅」と題する資料研究の成果をお寄せいただきました。真田家十代藩主真田幸民のもとに嫁いだ輯子の嫁入り道具の一つとして持参した花蹊筆の水墨画の掛け軸、輯子他の生徒が寄せ書きで完成させた『花卉図』の軸1本についての考察です。現地に出かけられての調査資料を踏まえた資料研究は、これらを展示するにつけても大いに参考にさせていただける研究であることはいまでもありません。花蹊先生および資料館に収蔵されているその他の資料についての詳細な調査が、多くの方々のご協力をいただきながら蓄積されていくことは、資料館として大変ありがたいことと、感謝申し上げる次第です。

「教育研究への活用を目的とする写真画像を含めた民俗資料データベースの考察」は、資料館にも多数収蔵されている写真資料をどのように整理し、收拾した情報を公開にむけて整理していくかを考える時に参考となる視点が提示されています。花蹊記念資料館に収蔵されている写真資料も、ゆくゆくは公開し、多くの人々に利用されることが望まれます。

学芸員課程の実習等に関する報告は、学芸員課程ご担当の村田宏先生にご執筆頂きました。本年度も多くの学生が「学芸員資格取得」のために学外実習を通じて体得したことを、自主企画展示実習に活かそうと努力した跡がたどれます。展示期間が短く、多くの後輩学生にみていただけなかったことは残念ですが、この体験は参加した学生の中で何時か・何かの機会に花を咲かせてくれることでしょう。

また、巻末には資料館の活動報告の一環として、25年度の展示のご報告をさせていただきました。なるべく多くの方に喜んでいただけるような展示を今後も企画していく所存です。そのためには、収蔵品の整理・研究が館として必須の仕事ですが、こちらの作業も本年度同様確実に進めていきたいと考えております。

来年度も花蹊記念資料館ならびに学芸員課程へのご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成26年3月吉日

跡見学園女子大学花蹊記念資料館
跡見学園女子大学学芸員課程